

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)三和寒川プロジェクト新築工事[B棟]	階数	地上2F
建設地	高座郡寒川町岡田5丁目490番5の一部	構造	S造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、第1種住居地域、高度地区	平均居住人員	40人
気候区分	6地域	年間使用時間	3,650時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2016年3月18日
敷地面積	4,094 m <sup>2</sup>	作成者	有限会社アオヤマ設計
建築面積	1,588 m <sup>2</sup>	確認日	2016年3月18日
延床面積	2,996 m <sup>2</sup>	確認者	有限会社アオヤマ設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.7

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	本物件は、隣接した敷地に3棟建設される物販店舗棟のテナントが入る棟である。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・室内換気を確保し、F☆☆☆☆の材料を使用し空気質環境の向上を図っている。	・耐用年数の長い配管材や内装材を使用して部材の長寿命化を確保している。	・周辺の建物にあわせるような外観として、調和を図っている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・高効率の空調設備、換気設備、照明設備を採用して省エネルギーを図っている。	・節水器具を採用している。 ・躯体と仕上材の分別を容易にして、リサイクル性の向上を図っている。	・光害の抑制に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される